

2008/9/17(水) 午前 0:13

無題

練習用



0





写真: プラハ空港、ウィーン空港のミーティング3枚

最終日の8月31日は5時30分の荷だしと6時15分のホテルロビー集合で始まりました。今日はプラハ空港からウィーン空港を経由して、成田に向かいます。ウィーン空港では3時間の待ち時間があり、この時間を使って本研修の振り返りを行いました。

さて、朝4時起きでしたが、薄茜色から澄んだ空色に流れるプラハの早朝の空も格別でした。この時間の出発ですので、西洋風お弁当をホテルに用意してもらいました。これもM.A.さんの長けた交渉術のおかげです。ハムサンド・リンゴ・スモモ・サラミドック？（サラミを薄い揚げパンで包んだもの）とミネラルウォーター（炭酸入）でした。プラハ空港でおいしくいただきましたが、炭酸入ミネラルウォーターには目が覚める思いでした。

プラハからウィーンへは懐かしいレシプロ機が待っていました。写真1の通り快晴の旅でしたので、揺れもせず快適な乗り心地でした。ですが、機種説明紙の「BOMBARDIER」という文字を見つけて、ちょっと緊張しました。

ウィーン空港ではお土産購入に逸る心を抑えて、スカイレストランでの振り返りです。さすがに、場所だけを借りるわけにいかず、飲み物や食べ物の購入が必要でした。その後、今回の研修旅行で各々が感じたことを伝え、分け合いました。積年の思いが果たせたという方、あの本に書いてあった文章の意味が本当に理解できたという方、フランクルの体験に思いを馳せた方、一人ひとりの語りが皆さんの心に響いているようでした。最後に、K.K.先生が「3つの感謝」でご自身の振り返りを伝えられました。私には参加者全員の振り返りがすべて込められた言葉のように思われました。

一つ目は大きく体調を崩す方もなく研修が終えられること。当初の研修目的（フランクルが生まれ育ち、生活した場所の訪問・ルーカス先生とフランクルセンター訪問・テレージェンシュタットとテレジン訪問の3訪問）が滞りなく達成できた。二つ目は天候に恵まれたこと。直前までは本当に肌寒い日々だったようですが、我々の滞在中は雨1滴降らない好天でした。3つ目はフランクルが育ち・生活したこの場所に来られたこと。費用と日程を用意できた我々の幸運は喜ぶべきことである。参加したくても参加できなかったゼミ参加者に研修の意義を伝達する責任があることを自覚すること。そして、4つ目にM.A.さんへの感謝。参加者から感謝の意をこめて、フランクルセンターで購入した書籍と今回伺えたルーカス先生の講義録をお渡ししました。研修を企画したK.K.先生、研修が滞りなく進むように念入りな準備と逐次のご配慮をいただいたM.A.さんには本当にお世話になりました。あらためて、感謝の意を伝えたいと思います。

本研修の報告は今回で終了となりますが、第3回研修に向けてすでにカウントダウンが始まっているという声も耳にします。今回参加できなかった皆さんも、次回に参加できるように準備を始めましょう。「本で読んでイメージしていても、それでもその場に来て感じることの大切さ（By K.K.談）」を是非とも体験していただくことを願っております。

後日談ですが、息子に買ったプラハのお土産は、帰宅翌日に壊れてしまいました。本人が誤って落としたのですが、泣きながら詫言の電話をしてきた息子に、「また行く時に買ってくるから。今度は一緒に行こう」とつい口にしてしまいました。次回は2人で参加できるように幸運を貯めておきたいと願っています（カレウ橋のたもとの怪しいなお店で購入したのですが、やっぱり値切ったのが悪かったのでしょうか？）。(T.N.記)